

本がいっぱい！



Teen's 2025

『三銃士 上・下』《Fデ》

アレクサンドル・デュマ／作 生島遼一／訳
岩波書店

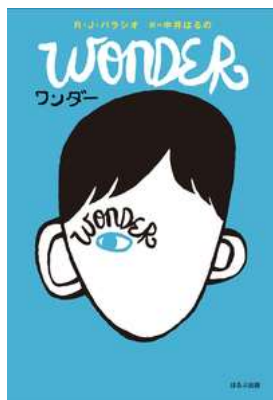
父の形見の老いぼれ馬に乗ってパリにやってきた若き騎士ダルタニャン。ささいなことで三人の銃士たちと^{いさか}諍いを起こすが、意気投合し親しくなる。三銃士とダルタニャンは、王と枢機卿^{すう ききょう いんぼう}が争い陰謀うずまく宮廷で、王を守るため命をかけて戦うことを誓う。



『ワンダー』《Fバ》

R. J. パラシオ／作 中井はるの／訳 ほるぷ出版

ぼくの名前はオーガスト。来週から中等部の普通の男の子、といたいけど周りの子と比べて外見がすごく変わってるんだ。そのせいで学校に通うのも生まれて初めて。そんなぼくを待ち受けていたのは予想通りの冷たい視線。でも、すばらしい出会いもあったんだ。



TOKOROZAWA CITY LIBRARY
所沢市立所沢図書館



『透明なルール』《Y Fサ》

佐藤いつ子／著 KADOKAWA

中学二年の優希は、クラス替えで目立つグループに入ることができた。しかし、自然に振る舞うことができず居心地が悪い。そんな優希が、自分の意見を言うことができる愛や、マイペースな誠との交流を通して自分と向き合っていく。

『行く手、はるかなれど』《F七》

菱木晃子／作 徳間書店

十六世紀初め、スウェーデン人のグスタフ・ヴァーサはデンマークの圧政から故国を救いたいとの強い想いで、軟禁されていた城を逃げ出します。父を殺され、友に裏切られ、孤立無援だったグスタフが「建国の父」への一步を踏み出すまでの物語。



『命をつないだ路面電車』《Fラ》

テア・ランノ／著 関口英子／訳 山下愛純／訳
小学館

第二次世界大戦末期のローマ。ユダヤ人の少年エマヌエーレは、突然来たドイツ軍に母と捕まった。母の機転でひとり脱出することができたが、見つかったら強制連行されてしまう！とっさに逃げ込んだ路面電車に身を隠し…。

『雪女 夏の日の夢』《Y Fハ》

ラフカディオ・ハーン／作 脇明子／訳 岩波書店

武蔵の国に、茂作と巳之吉というきこりがいた。ある晩、二人は家へ帰る途中、吹雪に襲われ小屋で夜を過ごすことに。その夜、巳之吉が目を見ますと、白づくめの女が茂作に白い息を吹きかけていた…（「雪女」より）。不思議な世界を探検できる短編集。



『カラフル』 《Y Fモ》

森絵都／著 カシワイ／画 文藝春秋

死んだはずのぼくの前に、天使が現れた。「おめでとうございます。抽選に当たりました！」
 どうやら前世で過ちを犯したぼくは、生まれ変わるチャンスを得たらしい。自殺したという
 “小林真”の身体が人間界でのホームステイ先。
 “小林真”として、ぼくの過ち捜しが始まった。



『黒い兄弟 上・下』 《Fテ》

リザ・テツナー／著 酒寄進一／訳 あすなろ書房

ある日、ジョルジョの住む村に、ほおに傷のある一人の男がやってきた。ジョルジョを煙突掃除夫に売れと言うのだ。売られた子どもたちは食べ物もろくにもらえず、息のつまる煙突の中で、ススをかきださなければならない。子どもを売る気はないと、一度は断った父さんだったが…。

『西の魔女が死んだ』 《Y Fナ》

梨木香歩／著 新潮社

学校という現実から、逃れるようにやって来たまいを、優しく迎えてくれた英国人の祖母。自信に満ちた彼女はまさに“魔女”だった。2人で暮らすうち、まいは少しずつ自分を取り戻す。



きまぐれロボット



『きまぐれロボット』 《Y Fホ》

星新一／作 和田誠／絵 理論社

お金持ちのエヌ氏は、離れ島にある別荘で過ごすため、なんでもできる優秀なロボットを買った。おいしい料理を作り、あとかたづけやピアノの調律さえもできるロボット。すばらしい毎日が送れると思っていたら、だんだんロボットの調子がおかしくなっていく…。



『車夫1』 《Fイ》

いとうみく／作 小峰書店

十七歳の吉瀬走は、父が借金をして失踪、母も出奔してしまったことから、高校も辞めざるをえず、居場所がなくなってしまった。そんな時、陸上部の前平先輩に誘われ、車夫として働くことになった。そこで出会った人たちを通じて自分の居場所を見つけていき…。

『あなたの言葉を』 《91.4》

辻村深月／著 毎日新聞出版

友達とうまくいかない時や、物事を「おかしい」と感じた時に、自分の気持ちをうまく言葉にできないことってありませんか？作家の辻村深月さんが、自身の経験や作品創作の話を交えながら、アドバイス！さあ、「あなたの言葉」を探しに行きましょう。



『タコのなぞ』 《48》

池田譲／著 講談社

タコの足はなぜ8本？タコにも右利きと左利きがある？タコの体や意外な能力などをタコ学者である著者が教えてくれます。不思議な生き物「タコ」のなぞを1つずつ見ていきましょう！

『もしもハチがいなくなったら？』 《Y48》

横井智之／著 岩波書店

ハチがいなくなったら花粉を運ばなくなったらどうなる？実はミツバチを始めとするハナバチの数が減っている。イチゴなど身近な作物の生産を助けるだけでなく、生物多様性の維持にも大きく貢献しているハナバチのことをさぐってみよう。

